




## 普及活動情勢報告（平成28年9月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

### 情勢報告

キュウリの環境制御技術普及を目指して・・・佐賀県への先進地視察・・・	
	<p>8月30日、31日の2日間、黒潮町大方のキュウリ生産者5名とともに、キュウリの環境制御技術を学ぶため、佐賀県武雄市に先進地視察を行いました。</p> <p>炭酸ガスの施用タイミングや施用濃度、ハウス内環境のどこに着目しているのか等、環境制御の先進事例を学び、環境制御への意欲を高めることができました。</p> <p>農業改良普及課は、今後も視察等の学びの機会をつくり、増収技術の更なる普及に取り組みます。</p>

集落営農組織の発展に向けて・・・黒潮町集落営農組織連絡協議会・・・	
	<p>9月6日、黒潮町保健福祉センターで、第1回黒潮町集落営農組織連絡協議会を開催し、集落営農組織の代表者や関係機関職員14名が参加しました。</p> <p>黒潮町から今年度の活動計画、農業改良普及課から県事業や総会作成資料について情報提供を行い、町内の2法人からは活動状況についての報告がありました。</p> <p>参加者からは、「事務仕事が大変そうだ」「儲かるのであれば法人にしたいと思う」等の意見があり、法人化への理解の深まりを感じました。</p> <p>農業改良普及課は、関係機関と連携して協議会活動を支援していきます。</p>

地域の活性化に向けて女性の力を発揮しよう・・・黒潮町農漁村女性グループ研究会・・・	
	<p>9月8日、黒潮町保健福祉センターで第36回黒潮町農漁村女性の集いを開催し、65名の参加がありました。</p> <p>幡多中央消防組合黒潮消防署から、救急法や対処法の説明後、救命実習を行いました。また、4名の地域おこし協力隊から、黒潮町に来た経緯や地域での活動状況について、各女性グループからは活動報告を行いました。</p> <p>参加者からは、「黒潮町内で活躍している人達の活動を知ること、自分達で何が出来るかを考えるきっかけになった」との声がありました。</p> <p>農業改良普及課は、反省会等を通じて、研究会活動への支援を行います。</p>

### 子ども達に農業を体験してもらいたい！・・・宿毛4Hクラブ・・・



9月1日、宿毛4Hクラブは宿毛市二ノ宮のほ場で、二ノ宮保育園児18名を対象にジャガイモの植え付け体験を行いました。クラブ員から『ジャガイモの植え方』について説明した後、園児とクラブ員と一緒にジャガイモを植えました。

クラブ員からは、「30年以上も続くこの活動を今後も地域の子供達と続けていきたい」、園児からは「収穫が楽しみ」等の声がありました。

農業改良普及課は、食農教育に力を入れる宿毛4Hクラブの活動を今後も支援していきます。

### 栽培技術の早期習得を目指して・・・JA高知はたミョウガ部会若手勉強会・・・



9月14日、四万十市のあぐりっこ研修センターにおいて、JA高知はた管内の若手ミョウガ生産者を対象に勉強会を開催し、12名全員が参加しました。

農業改良普及課はミョウガの特性や病虫害対策について、生産者代表には栽培管理の流れと日頃気をつけている点について説明してもらいました。参加者からは、「高収量を目指す農家の心構えを知る事ができた」「ハウス内の環境把握の手法や、生育・管理データの取りまとめ方を学びたい」「他産地の栽培管理も見てみたい」といった声が聞かれ、栽培管理の改善や、新しい技術の導入に向けての意欲を高める事ができました。

農業改良普及課では、今後もJAと連携して勉強会や先進地視察を開催し、技術の習得や生産者同士の交流を支援していきます。

### 栗の生産振興に向けて・・・JA西土佐支所栗部会総会・・・



9月8日、JA西土佐支所で栗部会の総会が行われ、生産者20名が参加しました。

農業改良普及課は、生育調査結果、超低樹高剪定の注意点について情報提供しました。JAは、去年の栗出荷量等の報告や部会活動の内容を検討するとともに出荷目慣らしも行いました。

生産者からは「夏剪定はいつ頃まで可能か」という質問があり、低樹高剪定への関心が高まっています。

農業改良普及課は、今後の剪定講習会で夏剪定について丁寧に指導をする他、モデル園での実績を上げていきます。

### オクラの収量・品質の向上のために・・・JA高知はた宿毛支所オクラ部会・・・



9月7日に宿毛市中角、山奈で、JA高知はた宿毛支所オクラ部会は露地オクラの現地検討会を開催し、計27名の生産者が参加しました。

農業改良普及課からは、スリット入りマルチの取組及び出荷場での空調導入後の温度調査結果について報告しました。生産者は自分のほ場と比較し、生育後期の管理方法について確認できました。

農業改良普及課は、今後も定期的に講習会等を開催し、オクラの安定生産に向けて支援していきます。

### オクラ産地の発展のために・・・JA高知はた宿毛支所オクラ部会・・・



9月12日、JA高知はた宿毛支所オクラ部会6名とともに、鹿児島県指宿市へ先進地視察を行いました。新規就農者の確保・育成の取組や栽培管理技術について学ぶことができました。

参加者からは、「自分たちの産地でも指宿市の技術を取り入れてみたい。来年試験しよう。」等の声がありました。

農業改良普及課は、今後も視察等の学びの機会をつくり、オクラの安定生産に向けて支援していきます。



### 栽培技術の向上を目指して・・・ミシマサイコ現地検討会の開催・・・



8月23日、宿毛市、大月町の生産者で構成するはた生薬生産組合が現地検討会を開催し、8名の参加がありました。

農業改良普及課からは他地区の栽培事例や、今年度の実証試験計画について説明しました。

参加者からは病虫害防除や施肥方法について意見が出され、今後の管理について確認をすることができました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会や実証試験などを通じ栽培技術の向上に努めていきます。

### 文旦産地の強化に向けて・・・後継者による新たな組織設立を協議・・・



9月16日、JA高知はた宿毛支所において、宿毛市、JA高知はた担当者で、組織設立に向けた事前協議を行いました。

農業改良普及課は、目的集団の立ち上げのポイントを説明し、組織のあり方や支援方法について関係機関で意識統一しました。また、今後後継者の代表者を含めて規約を検討し、10月上旬の設立を目指すことになりました。

農業改良普及課は、新たな組織設立を契機に、後継者の課題解決能力を強化していきます。